

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol. 31
2015.10

INDEX

コラム

① 安心して治療を受けて いただくために

～当院の医療安全について～

② 5S活動の紹介

～5S活動実施中～

トピックス

RST（呼吸療法サポートチーム）について
難病法に基づく特定医療費助成制度について

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

初の研修体験型インターンシップ開催
「ウィッグ展示・情報コーナー」のご案内

糖尿病食食事会のお知らせ

2015 公開医療福祉講座

がんサロン「にじの会」のご案内

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- － 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- － 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- － 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

安心して治療を受けていただくために ～当院の医療安全について～



副院長兼医療安全管理部長兼
周産期母子医療センター長

樋口 和宏



医療が高度化するとともに多様化している現代では、より質が高く、より安全な医療が求められています。医療安全についてはこれまで以上に、個人レベルだけではなく、組織としての安全対策



が必要とされています。当院は尾北地区の基幹病院であり、多くの患者さんが来院されるため、院内で発生するいろいろな問題に対応できるよう準備をしています。昨年からは患者さんの本人確認の徹底に努めており、お名前を何回か尋ねたり、救急外来ではリストバンドを装着させていただいております。面倒くさいと思われるかもしれませんが、ご協



力をお願いしております。また、院内で急に体調が悪くなった方がおみえの場合は、コード99と呼ばれる院内放送により、ただちにスタッフが現場に駆けつけて救急処置を行う訓練を定期的に行っています。

当院の医療安全委員会は、医師、看護師だけでなく、各部署から選ばれた委員で構成されています。毎週水曜、朝8時から医療安全対策会議が開かれ、ヒヤットしたこと、危険と思われたことなど（インシデントレポート）が報告されます。これらの報告が院内の各部署から出てくことは、スタッフが真剣に予防対策を考えている結果です。この会議では、ミスが発生した原因を探り対策を議論していますが、特に重要な課題については、月1回開いている医療安全委員会で取り上げられ、委員全員で、背景、原因分析、予防対策を検討しています。その結果は、できるだけ早く現場にフィードバックし、同様の事象が発生しないよう対応しています。また、患者さんや家族の皆さんからお寄せいただいたご意見には、これらを真摯に受け止めて日々改善に努めています。

今後もスタッフ全員で、患者さんに安心して治療を受けていただける環境を整備し、江南厚生病院の医療がレベルアップする取り組みを続けて参ります。



5S活動の紹介

～5S活動実施中です～

5S推進委員会副委員長
臨床検査技術科技師長

舟橋 恵二



“5S”とは、「整理、整頓、清掃、清潔、しつけ」を総じた略号であり、安全管理の一環として、広くそして積極的に企業に取り入れられています。こと製造業におけるその効果は絶大であり、社員への5S浸透率と利益は比例するといった定説まで誕生しました。ちなみにリスクマネジメントとは1920年代に欧米企業が唱えた財務管理のための手法であり、投資にまつわる危機を事前に察知・回避するというものです。わが国ではこの単語を病院やクリニックにそのまま導入したため、安全管理を総じて「リスクマネジメント」と称するようになりました。これと同じように製造業における5S活動と医療現場における5S活動ではその内容は少し異なります。私たちは平成26年2月に5S委員会を設立し、さまざまな施設を参考にして概ね手作りの5S活動を展開してきました。当初の目標は1年間で整理・整頓を実際に体感することであり、手探りの5S活動がスタートしました。それらの一部（今回は整理と整頓について）を紹介します。

整理とは「必要なものと不必要なものとを分別し、不必要なものを捨てること」です。不必要なものを捨てることにより、整頓の基本となるスペースの確保が可能となります。「マネジメントとは『捨てること』である」とさえ言われています。物を捨てることに抵抗があり“もったいない”と思うのであれば、次回物品を購入する際は、もう一度よく考えて本当に必要なものだけを購入することを心がけましょう。



前



後

整頓とは「必要なものだけを、置き場を決めて明示すること」です。自分で決めたことも曖昧で忘れがちなのに、他人が決めたことなどわかるはずありません。そこで「決められた置き場所」と「ルールに則った明示」が必要となります。「どこにあるのか?」「どれなのか?」がはっきりしないと、探すといった時間を浪費します。保管場所を決めしっかり明示することにより、「もの探し」といった時間的スト



前



後

レスを低減させましょう。

私たちのゴールは「患者さんも医療スタッフも安全で安心できる病院環境の創設」であり、5S活動が普遍的な価値としてスタッフに定着しつつあることを実感しています。

整理
Seiri

必要な物と不必要な物をハッキリ分けて、不必要な物を捨てること

整頓
Seiton

必要な物を規則正しく配置し、誰にでもわかるよう明示すること

清掃
Seisou

掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にすること

清潔
Seiketsu

整理・整頓・清掃(3S)が維持できている状態

しつけ
(習慣)

Sitsuke (Shukan)

決められたことを守る習慣づけ

RST（呼吸療法サポートチーム）について

私たち RST は、自分で呼吸することが難しく人工呼吸器を付けなければならない患者さんに対して、“安全で適切な人工呼吸器の使用”と“早期人工呼吸器離脱”をお手伝いするためのチームです。メンバーは人工呼吸器について十分な知識と技術を持った医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、歯科衛生士、事務員で構成されており、病院内で人工呼吸器を使用している患者さんの元を定期的に回診して、主治医や現場の看護師に人工呼吸管理のアドバイスをを行ったり、安全に人工呼吸器が動いているかチェックしたりします。また、毎月 RST 委員会を開催し、院内で人工呼吸器をより安全・適切に使える方法を協議したり、病院スタッフに向けた勉強会を行ったりしています。

普段なかなかお目にかかる機会はないかもしれませんが、“人工呼吸管理”という高度で複雑な治療を安全に行えるよう各職種が力を併せてチーム医療を実践しています。



難病法に基づく特定医療費助成制度について

難病は原因が不明で治療方法が未確立であるため、患者さんの生活に長期的な支障をもたらすことが少なくありません。国はこれまで「特定疾患治療研究事業」として難病患者への助成を行ってきましたが、今年から新たに「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」が施行されました。新法のもと対象疾病が見直され、平成 27 年 7 月には 306 疾病が医療費の助成対象として認められました。同制度を利用すると、世帯の所得に応じた自己負担限度額（月額）が設けられます。そのため、患者さんが上限額を超えた医療費を負担する必要はありません。

難病の医療助成を受けるためには医療受給者証が必要であり、申請窓口はお住まいの市町村を所管する保健所となります。詳しい制度の申請方法につきましては、当院の医療福祉相談室でご案内いたしますのでお気軽にお尋ねください。

イベント紹介

院内コンサート Concert

6月17日
(水)

春日八郎さんの「木曾の舟唄」の作詞家である奥村鋭男さんらにお越しいただき、心にしみる演歌、日本舞踊をご披露いただきました。懐かしい曲目に皆さん心がなごむ時間を過ごしてみえました。

7月22日
(水)

モルゲン・ロートによるコンサートが開催されました。今回はいつもと違う雰囲気でのコンサートでしたが、力強く優しい声とピアノの美しい音色に、元気をもらい会場は笑顔で満ちあふれていました。

8月25日
(火)

子ども達によるヴァイオリンコンサートが開催されました。ヴァイオリンの温かな音色と、一生懸命に弾く子ども達の姿に癒され、中には感動して目を潤ませている方もいらっしゃいました。





初の研修体験型インターンシップ開催

8月13日に看護学生を対象に研修体験型のインターンシップを開催しました。研修体験型インターンシップとは、実際の教育を体験し、就職後の不安を少しでも和らげることを目的とした新企画のインターンシップです。

看護師は一生のシゴトとして働き続けるために、卒業後も様々な研修を受け、日々学習・経験を積み重ねながら一人前に成長していきます。そのため当院では、看護基礎教育と卒後教育のギャップを最少にするために、実際の教育の場に触れ体験することが大切と考えています。

この研修体験型インターンシップでは、まず座学による看護部の教育理念や教育体制の説明を行い、その後、病棟で実際の教育方法の説明や今年の新人との対談を行いました。今回の対談では、和気あいあいと活発な意見交換が行われ、大変盛り上がりました。

次に先輩看護師と共に「医療安全」の研修会に参加しました。終了後は病棟に戻り、危険をはらんだ模擬患者と病室を設定し、危険予知トレーニング(KYT)を行いました。「あれは危険だね」「床が濡れていると転倒しやすいね」など危険を予知した意見が多数聞かれました。

この研修体験型インターンシップを通して、実際の研修会や現場教育を体験し、今後の臨地実習に活かしたり、リスク感性を養ってもらう良い機会となりました。



「ウィッグ展示・情報コーナー」のご案内

抗がん剤治療の副作用と聞くと、脱毛のことをイメージされる方も多いと思います。この副作用は、目に見えてわかるため、脱毛のことが気がかりで治療を前向きに考えられない方や、脱毛によって自分の見た目が変わってしまうことに不安を感じる方もいらっしゃいます。また、放射線治療によっても脱毛が生じることがあります。これらの治療を受ける全員に脱毛が生じるのではなく、抗がん剤の種類や組み合わせ、放射線の照射部位によって異なります。そのため、治療前に予想される脱毛の程度を確認し、自分でできる準備をすることで、不安をやわらげる助けになります。

当院の外来化学療法センター内のインフォメーションルームには、ウィッグ展示・情報コーナーがあります。ここでは、数種類のウィッグや帽子を展示しており、実際に手にとってみるができます。また、ウィッグや帽子に関する情報や脱毛前から行うケア方法の情報を集めることもできます。

ご興味のある方は、下記の時間にお気軽にお越しください。



月～金曜日／9:00～17:00 第1・3土曜日／9:00～12:00

※来室の際は必ず「外来2 受付4」へお声かけください

糖尿病食食事会のお知らせ



みなさん、糖尿病の食事療法はうまくいっていますか？食事療法は、実際に食べてみるのが一番です。毎年恒例の糖尿病食食事会を下記のように企画しましたので、奮ってご参加ください。当院の患者さんとご家族の方以外の方にもご参加いただけます。

- 日 時：平成27年12月5日(土) 11:30~13:00頃まで
- 場 所：江南厚生病院 2階講堂
- 費 用：600円 当日受付でお支払いいただきます
(混雑防止のため、おつりのないようにご準備ください)
- 予約期間：10月1日(木)～定員60名になり次第終了
- ※不明な点は内科外来17番 看護師にお尋ねください

準備の都合上、予約制とさせていただきます。予約は、下記予約期間に内科受付にて行いますが、定員になり次第締め切りとなりますので、ご了承ください。

※電話予約：TEL (0587) 51-3333 (代表)
→内科受付におつなぎします。
(電話での予約は13:00~16:00に限定させていただきます)

2015 公開医療福祉講座

江南厚生病院では、地域住民の皆様向けに、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

- 場 所：江南厚生病院 2階講堂
- 時 間：13:30~14:30

日程と内容

10月 9日(金)	健康管理はデータ管理から 臨床検査技術科 技師長 舟橋 恵二、川崎 達也、林 克彦
11月12日(木)	産婦人科領域の救急疾患 産婦人科 副院長 樋口 和宏
12月15日(火)	①「ひかり」と「メガネ」について リハビリテーション技術科 視能訓練士 武藤 康司 ②腰痛に対する運動療法 リハビリテーション技術科 理学療法士 鈴木 貴士



お問い合わせは・・・医療福祉相談室 野田・大池 まで TEL (0587) 51-3333 (代表)

仲間やがん詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか？

平成27年度 がんサロン「にじの会」のご案内



- 対 象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族
- 日 時 (※変更になることがあります)
- 場 所 外来2階 多目的室
※外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
10/17(土)、11/17(火)	免疫力アップのための工夫	がん看護専門看護師
12/19(土)、1/19(火)	元気になるメイクアップの方法	がん性疼痛看護認定看護師
2/20(土)、3/15(火)	治療と仕事の両立のために	ソーシャルワーカー

10:00~10:30 プチ講座 (2か月毎に内容を変更します)
10:30~12:00 参加者同士の交流会

<問い合わせ先> がん相談支援センター TEL (0587) 51-3346 FAX (0587) 51-3317
E-メール: gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

参加費
無料

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00~20:00	13:00~20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2015年(平成27年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

発行日/平成27年10月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL (0587) 51-3333 FAX (0587) 51-3300